

七ころび 八起き

第12号
平成26年
春号



医療法人達磨会 東加古川病院

Higashi Kakogawa Hospital

～未来地域に根ざした医療～

理念

- 1) 精神医療に携わることに自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

作品紹介



作業療法 参加者の作品 ～5月のちぎり絵～



新年度のスタート 事務次長 浮田 達哉

4月になり新年度のスタートをきりました。3月末より桜の開花も始まり、毎年の事ですが満開を楽しみにされている方々も多いのではないのでしょうか。梅の花見はしません桜の花見はたくさんの方がします。どちらも同じように満開はきれいです。梅は枝に直接花が付き桜は花の下に茎があるので花卉が下向きです。花見は樹の下から見上げるので、花見にむいているのは桜がいいようです。

さて、季節はいいのですが医療機関では診療報酬の改定があり、アベノミクスに関係なくため息の出る春になっています。初診料や再診料は少し上がりましたが、全体を見回すとマイナスイメージの改定です。診療報酬に消費税増税の上乗せをしたと言われてはいますが、治療材料を多く使わない精神科病院の当院でも「損税」が増えます。また、精神保健福祉法改正の施行も4月からで、法改正の根幹と医療現場のギャップに医師をはじめ職員が対応に頭を痛めています。医療保護入院される本人やご家族に不利益が起きてこないか、不安を感じるのが取り越し苦労ならいいのですが。新年度のご挨拶がネガティブな内容になりましたが、気持ちを切り替えて乗り切っていきたいと思います。





平成26年度 看護教育体制について

看護部長 村岡 由美

新年度を迎え早々に精神保健福祉法の一部改正と診療報酬の改定が重なり、看護部も体制の切り替え等で、例年になく慌しいスタートとなりました。

当院は近年、入院患者様の高齢化や認知症及び身体合併症患者様の増加に伴い、身体ケアの専門性も求められるようになりました。この度の法改正や医療の現状に沿えるような看護職員の幅広い知識と技術が要求されてきていますが、慢性的なマンパワー不足も加わり看護部として頭を悩ます大きな課題となっていますが、看護部として、“現状打破は今すべき！”と考へ、今年度の看護目標を『時代の変化に即応した質の高い看護を提供する』ことを掲げ、思い切って教育体制を変革しました。

学研のeラーニングシステムの取り入れ、新入職者研修の体制整備、院外研修の個人希望を取り入れた選考制度、自部署の特徴に応じたタイムリーな研修内容の推進、委託業者を介しての専門性の高い研修計画を立てています。

看護職員一人ひとりが変革の新風を取り込み大きく成長していくことを強く期待して、この一年尽力していきたいと考えています。

家族教室について



当院では月に一回程度、精神疾患を抱えたご家族様を対象に、『家族教室』を開催しています。家族教室を開催し始めて、約一年が過ぎました。毎回、20～30名の方がご参加されています。今年度は、年間プログラムの通り、毎回当院の様々な職種の者からの話を予定しています。また、ご家族同士の話し合いの時間も設けています。精神疾患についての理解を深めたり、ご家族の対応方法など共に考えていける場となればと思っています。

ご家族同士だからこそ分かり合えることもあり、「勉強になった」「辛い体験を話すことができた」「同じ思いを持っている人と話ができて良かった」などの意見をいただいています。家族教室について、詳しく知りたい、参加してみたいとお考えの場合は、当院地域医療連携室 (TEL 079-424-2981) までお気軽にご連絡ください。また、当院ホームページにも詳細を記載していますのでご覧ください。

開催日	担当職種	開催日	担当職種
H26年 6月14日	話し合いの会	H27年 2月7日	作業療法士
7月5日	薬剤師	3月7日	臨床心理士
9月6日	管理栄養士		
10月4日	医師		
11月1日	看護師		
12月6日	デイケア職員		



家族教室の様子



「変化する精神医療」

医師 高内 茂

私が精神科医療に携わって 38 年が過ぎました。その間、人口の高齢化をはじめ社会は大きく変化しましたが、精神科医療も大きく変わりました。その第一は治療薬です。筆者が入局した頃に使われていた薬も今はほとんど使われず、副作用の少ない新しい薬に置き換わっています。病院も建て替えられ、昔多かった畳の部屋はなくなり、清潔な環境が整えられました。精神保健福祉士などの、コメディカルスタッフも精神科医療には欠かせない存在となっています。1987 年の精神保健法（当時）制定も変化をもたらしました。

あまり報道されませんが、この 4 月からは精神保健福祉法が改定されて、精神科医療の現場の大きな変化（嵐？）が生じようとしています。私たちは、当事者の方にとってよい変化であることを願います。



取 り 組 み

～其の 1～

☆薬局の取り組み～つどいの場にて～☆

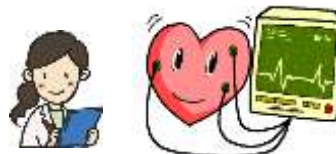
薬剤部では、入院患者様対象に、生活訓練センターで毎月第 3 月曜日午前、午後に「薬と病気の話」を開催しています。毎回 100 人程度の参加があり、「よくわかった」「勉強になった」とうれしい声も聞こえます。真剣に聞いてくださる患者様に感謝し、安全に安心して継続服用していただけるように、今後も続けていきたいと思えます。



☆検査室の取り組み☆

検査室では脳波、心電図、超音波検査等の生理機能検査を主に実施し、患者様の治療のためのデータや院内感染対策のための情報を医師に提供しています。また合併症をお持ちの患者様や当院入院中に発症、発見された他科領域の病態についても有用な検査情報を提供できるよう取り組んでいます。

生理機能検査は機器を用いて患者様に対して直接行う検査ですので患者様が不安を訴えられることがあります。安心して検査を受けていただけるようわかりやすく丁寧な検査の説明を心がけています。





取 り 組 み

～其の2～



☆病棟レク「花見」☆



やわらかな日差しが快く感じられる季節となりました。当病棟は4月4日病院バスを利用し、明石海峡大橋を渡り、海と山が迫り変化に富んだ景観を楽しみました。淡路ハイウェイオアシスを観光し、桜満開のもとで、三段重のお弁当に舌鼓と、大満足して頂く事が出来ました。今後も、患者様の有意義な時間となり、社会に関心を持ち、退院の意欲に繋がる病棟行事を心掛けて参ります。

～西3階 男女混合開放病棟 明石海峡大橋より淡路島へ～

☆グラウンドの花壇～OT～☆

去年の冬頃、生活訓練センターの人工芝グラウンドにある花壇に、患者様と共に土を耕し花を植えました。今年の春に入り、色とりどりのチューリップやパンジー、小さくて可愛らしいスノーボールなどたくさんの花が花壇一面に綺麗に咲きました。これからは園芸好きな患者様たちと協力をして、綺麗な花壇を維持できるように努力したいと思います。



* 外来変更のお知らせ *

H26.4.1 より外来診察医師の変更がありますので、下記にてご確認ください。
*受付時間は月曜日から土曜日の8時30分～11時30分です。



外来診察のご案内

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	木村	森院長	森院長	高内	森院長
	前田	大村	高内	太田	木村	
	藤田	伊敷	谷川	前田	藤田	菊川
	谷川	太田	大村	津田	大西	大西
午後			森院長 〈物忘れ外来〉	堀野 〈思春期外来〉	大村	

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

新年度が始まりましたね！私事になりますが、最近ダイエットを始めてみました。冬は寒く、つい部屋でごろごろしてしまい運動不足に。。なので、暖かい春のうちに痩せようと思います。みなさんも新年度ということで、何か新しいことを始めてみてはどうでしょうか！ 広報担当

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3

TEL : 079-424-2983 (代表)

FAX : 079-424-2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では2004年にISO9001を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- ①公共交通機関でのご来院
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)